

レジメン名称(sVCD(ボルテゾミブ+エンドキサン+デキサメタゾン)q5w) 多発性骨髄腫

ID _____ 患者氏名 _____ 様 (性別 _____)

身長 _____ cm 体重 _____ kg 年齢 _____ 歳 体表面積 _____ m²

HBs 抗原 (+ -) HBc 抗原 (+ -) HCV 抗体 (+ -)

薬剤	投与量	投与日				1 コース 5 週間			
		Day 1.....8.....15.....22.....29.....36							
ボルテゾミブ(皮下注)	1.3 mg/m ²	↓	↓	↓	↓				
エンドキサン(内服)	300 mg/m ²	↓	↓	↓	↓				
レナデックス(内服)	40 mg/body	↓	↓	↓	↓				

レジメンオーダー以外に必要な処方

エンドキサン(50) 300 mg/m² 1×朝食後 day1、8、15、22

レナデックス(4) 10 錠 1×朝食後 day1、8、15、22

必要時アシクロビル、フェブリク (下記)

注意事項

ボルテゾミブは調製後 8 時間以内に使用すること。

ボルテゾミブは 1 回投与量 1.3mg/m²を生食で濃度が 2.5mg/mL となるように溶解し、皮下注射する。毎回同じ部位に皮下注射することがないように、注射部位をローテートする（皮下脂肪組織の萎縮や硬結をきたして、薬液の吸収が悪くなることがある。また皮膚の炎症などを起こす可能性が高くなる。）

高齢者や感染症を合併する危険性が高いと考えられる患者では、初回投与量を 1 レベル減量（エンドキサンは 200mg/m²、デキサメタゾンは 20mg）できる。

エンドキサンの服用量は体表面積により算出し、50mg 単位で切り捨てる。

帯状疱疹：アシクロビル予防投与をすることがある（例：200-400mg/日）。

腫瘍崩壊症候群：フェブリクなどを予防投与することがある。



投与方法：1、8、15、22 日目	
1	ボルテゾミブ _____ mg, 皮下注 皮下注の場合：1V (3mg) あたり生食 1.2mL で溶解し、適量を使用